

山幸二ギャラリーが相互に連携をとりながらその活用を図ることとします。特に、氷川町まちづくり酒屋については、民間事業者の公募を行い、その有効活用を図ります。

氷川まつり、梨マラソン大会、ヘラブナ釣り大会、ウォーキング大会など、各種イベントについても参加者増加への工夫を行いながら、町外からの交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。



氷川町まちづくり酒屋

2 地域でいきいきと暮らせる 保健福祉のまちづくり

生活の安定は健康づくりという視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、保健予防、検診事業、健康相談、保健指導、食生活改善指導をさらに強化推進します。

高齢者等福祉タクシー利用料金助成事業を継続し、交通手段が乏しい高齢者や障がいのある皆さまを支援していきます。

病児・病後児保育が八代北部地域医療センターを事業主体として実施されていますので、今後も運営や財政支援を行います。

八代市・市及び郡市医師会と連携して設置した「八代地域在宅医療・介護連携支援センター」を核として、地域包括ケアシステム構築を図ります。

第9期氷川町介護保険事業計画に基づき、対象者個々のニーズに応じた適切な介護保険サービスを提供します。

人間ドック受診費用、各種ガン検診費用、インフルエンザ予防接種費用の助成を継続して実施します。

継続事業として、3歳未満児の保育料の無償化、3歳未満児のおむつ代やミルク代などの子育てに係る経済的負担を軽減するための物価高騰対策子育て応援券の支給、家事・育児に不安を抱えるヤングケアラー家庭を訪問し、家事支援を行う子育て世帯訪問支援事業を実施します。

子育て・定住促進対策として、現在の高校生までの医療費無料化、産前産後ホームヘルプ事業、すこやか赤ちゃん出産祝金支給事業を継続して実施するとともに、保健師を中心とした子育て世代の支援を促進していきます。

また、昨年設置したこども家庭センターを拠点に、こどもの虐待

や悩み相談に対応していきます。



昨年度から始まった保健師・管理栄養士によるもうすぐ1歳教室

高齢者及び障害者福祉対策としては、いきいきサロン事業、食の自立支援事業、通所型介護サービス事業、高齢者及び障がい者住宅改造助成事業の継続をはじめ、障がい者総合支援法に基づくさまざまな支援事業を実施するとともに、就労支援などの自立支援にも取り組んでいきます。

特に、いきいきサロン事業については、全地区で開催されていますが、高齢者のみならず地域の各年代層の方々が関わりを持てる機会をつくり、地域ぐるみで高齢者を見守る環境づくりを進めていきます。

町社会福祉協議会の地域福祉活動計画及び組織改革計画を踏まえ、社会福祉協議会と民間施設と役割分担を図り、氷川町に適応した社会福祉協議会独自の地域で支える介護・福祉の環境づくりを進めていきます。

3 人を育む 魅力ある教育の振興

学校給食共同調理場規模拡大改修工事が完了しましたので、2学期からの氷川中学校の給食統合に向け環境を整備します。

なお、現在物価高騰に対する給食食料費の補助を実施していますが、令和8年度から国が実施する小学校給食無償化に合わせて、中学校の給食も町独自で無償化することとします。

新規事業として、宮原小学校給食棟解体工事と竜北東小学校低学年棟屋根防水改修工事を施工します。



改修が完了した
学校給食共同調理場

氷川町文化センター内に設置した教育支援センターの活用により、不登校の未然防止とその解消を図り、児童生徒の登校、学校復帰を支援していきます。

中学生の英語検定受験助成事業を継続し、財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定費用の全部または一部を助成し、英語に対する学習意欲の向上を図ります。

小中学校に導入したICT機器（電子黒板、タブレットなど）の更新を行うとともに、ICT支援員2人を配置し、学習支援を行うことで学力の向上を図ります。継続して教職員OBを指導主事として配置し、教職員の授業力向

上、学級経営、生徒指導等への指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニティ・スクールの取り組みを推進していきます。



子どもたちも会議に参画する
コミュニティ・スクール

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う特別支援教育事業、地域ぐるみで学校運営を支援する地域学校協働本部事業も継続して取り組んでいきます。特に、特別支援教育支援員については、5校合わせて14人体制で支援していきます。

小学校部活動が社会体育に移行して7年が経過しましたが、今後も円滑な活動が図られるよう指導者の育成などの支援を行うとともに、中学校部活動の地域への移行を図ります。

幼児期における質の高い保育・教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画及び新次世代育成支援対策行動計画に基づく事業を実行し、全ての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指していきます。

八火図書館も多くの町民の皆さまにご利用いただいています。今後も蔵書数を増やすとともに、本施設を中核として学校図書館との連携を図りながら積極的に図書活動を実施していきます。

八代郡スポーツ協会と氷川町スポーツ協会を一元化し、氷川町文化協会とともに組織の強化と会員の拡大を目指して、相互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行います。